

冬季閉鎖施設 再開時期

各名称末尾の番号と、下記問合せ先の番号が対応しています。

施設

赤沼自然情報センター⑥	4/26～
イタリア大使館⑥	4/1～
中禅寺湖畔ポートハウス⑥	4/1～
さかなと森の観察園③	3/20～
日光湯元レストハウス②	4/上旬～
あんよの湯(足湯)①	4/13～

交通

湯ノ湖歩道⑨	5月頃～(積雪次第)
男体山登拝④	4/23～(右に詳細)
東武バス⑦	4/1～(冬ダイヤ終了)
低公害バス⑥	4/26～
中禅寺湖遊覧船⑤	4/9～
金精道路⑪	4/26～
山王林道⑩	4/下旬～ <small>(奥鬼怒林道)</small>
中宮祠足尾線⑪	4/9～ <small>(旧中禅寺湖スカイライン)</small>
県営赤沼駐車場⑩	4/26～
県営丸山駐車場⑩	4/上旬～

トイレ

湯ノ湖畔⑧	4/下旬～
湯滝⑧	4/中旬～
小田代原⑧	4/中旬～
赤沼自然情報センター⑥	4/26～
中禅寺湖畔ポートハウス⑩	4/上旬～
千手ヶ浜⑥	4/26～
西六番園地⑩	4/上旬～
歌ヶ浜⑧	4/下旬～
イタリア大使館前⑩	3/下旬～
華厳滝第一⑥	4/月中～
明智平⑧	4/月中～

★通年使えるトイレ



●「山の日」制定を祝い、男体山の登拝期間が延長されました

5月5日の開山祭と10月25日の閉山祭は例年通りですが、その前後、4月23日～5月4日と10月26日～11月11日の期間も登拝することができます。【問合せ先-④】

日付は予定であり、積雪状況等により変更される場合があります。特に、期間前後はお気をつけください。詳細は下記問合せ先まで。

問合せ先 (市外局番 0288)

①日光湯元ビジターセンター 62-2321	④日光二荒山神社中宮祠 55-0017	⑧日光市総合支所観光課 53-3795
②レストハウス 夏季 62-2156 冬季 62-2535	⑤船の駅中禅寺 55-0360	⑨日光自然環境事務所 54-1076
③増養殖研究所日光庁舎 55-0055	⑥日光自然博物館 55-0880	⑩県西環境森林事務所 21-1178
	⑦東武バス日光営業所 54-1138	⑪栃木県日光土木事務所 53-1211

開館日・開館時間のお知らせ

4・5月 9:00～16:30(無休)

本誌バックナンバーHPで公開

最新一年間分を除き、過去の楓通信PDFが当センターHPに掲載されます。現在116号まで、来年度6号分追加されます。20年の歴史をご覧ください。

館内展示が新設されました

解説パネルなどに英語を中心とした多言語表記が加わった他、地形の成り立ちが分かる大型パネルや、四季の写真が配された大型幕などなど。ぜひご覧ください。

編集後記

カラーになりました◆4月20日に20周年を迎える本誌が、1号から連続と続く想いはそのままに、節目の年に鮮やかに衣装替え。時折、春の陽気さえ感じる奥日光で紙面に色を付けていくと、心が弾むようでした◆厳しい冬を懐かしみつつ、ツツジやヤマザクラ、夏鳥など、春の彩りに出遅れないよう、気持ちを新たにしています(まる)

【表紙の話】

湿原に春の到来を知らせるノビタキ。朝露がきらめく初春の戦場ヶ原にただ1羽たたずむ小さな彼の、静かでありながら圧倒的な存在感に、強く惹かれました(まる)

楓通信 No.122

日光湯元ビジターセンター発
-奥日光の自然情報誌-

2016年4月1日発行
次号6月初旬発行予定

隔月発行 一部100円
年間購読料1,000円(送料込)

年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ！

ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

楓通信

4-5月号



奥日光 歳時記

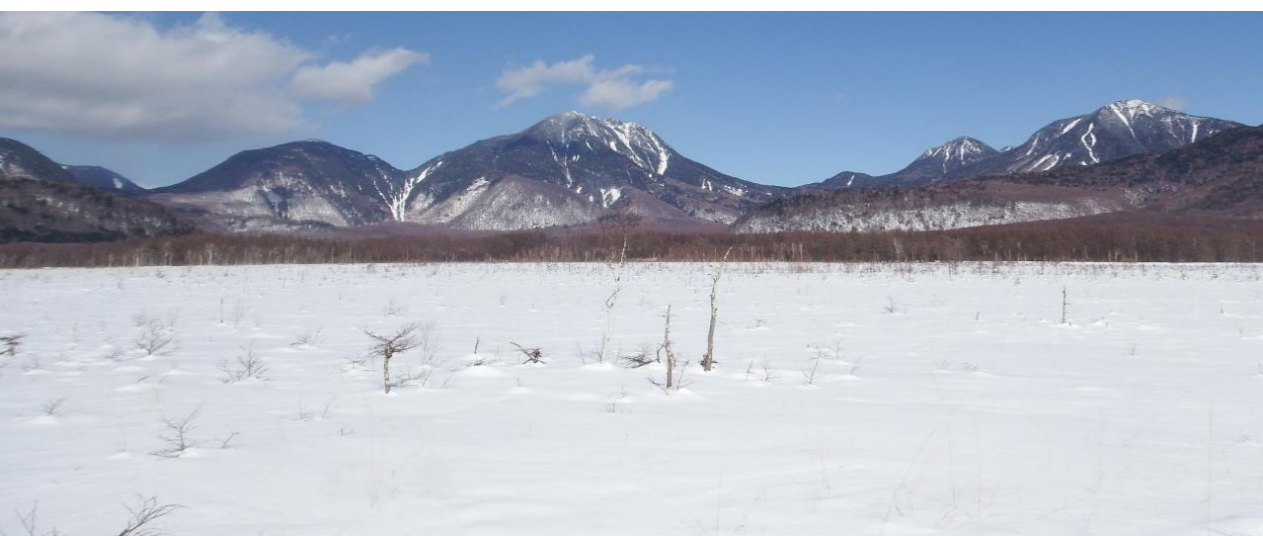
2-3月

相変わらず雪が少ないこの冬。何度か積雪はありましたが、とける方が早く、雪は減る一方です。今年はマンサクの開花が早く、今後も、開花や野生動物の

冬眠からの目覚め、鳥の繁殖など、春の生きものの動きが例年より早まるかもしれません。冷える日も多いですが、春はすぐそこまで来ています。



2016.3.13 雪がほとんどない戦場ヶ原。昨年この時期は、まだ一面雪原だった。



2016.2.8 この頃の戦場ヶ原にはまだ雪があるが、木の枝が見えており、とても浅い。



2016.2.22 金精の森でみつけたノウサギの足跡。前日の積雪ではっきり残っているが、この冬は雪が締まって足跡が残りにくい状態が多かった。



2016.2.12 湯元の泉源で、ツグミが虫をついばんでいた。冬鳥だが、およそ4月中までは奥日光に留まっている。

先取り 自然情報 4-5月

栃木の花「やしおつじ」のなかまが次々に咲く季節。夏鳥の渡りもあり、日々の変化から目が離せません。

日光の気象

文◆辻岡
気象予報士の資格を持つスタッフが、毎回1テーマを分かりやすく解説します。
.....

4-5月に咲く主な花



アカヤシオ
半月山で5月上旬、湯元では5月中旬が見頃。奥日光に春を告げる花です。



シロヤシオ
中禅寺湖で5月下旬、湯元では6月上旬が見頃。ゴヨウ(五葉)ツツジとも呼ばれます。



アズマシャクナゲ
中禅寺湖や湯元で5月下旬が見頃。湯ノ湖の山側の歩道を、華やかに彩ります。



トウゴクミツバツツジ
竜頭滝や湯川などで、5月下旬から6月上旬が見頃。「ミツバ」の葉の緑も同時に楽しめます。



オオヤマザクラ
中禅寺湖で5月中旬、湯元で5月下旬が見頃。花の薄桃色と赤い若葉が調和します。

4-5月に渡ってくる夏鳥など



ノビタキ
4月中旬、戦場ヶ原や小田代原に渡ってきます。枝の上でさえずるので、探しやすい鳥です。



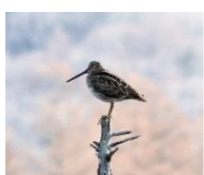
ホオアカ
5月上旬、戦場ヶ原や小田代原に渡ってきます。ノビタキと同じく、枝の上でさえずります。



アカハラ
4~5月頃から戦場ヶ原などでみられます。地面をちょこちょこ歩いて、餌をついばみます。



アオジ
4月中旬頃から見られます。湿原内より林など木々のある所にいますが、黄色が目立ちます。



オオジョシギ
4月中旬に戦場ヶ原に渡ってきます。姿が見えない時も、独特の鳴声が聞こえてきます。



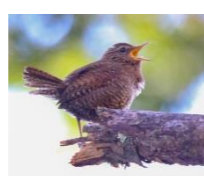
キビタキ
4月下旬から各地で見られます。散策される際は、ぜひこの鮮やかな黄色を探してください。



ルリビタキ
刈込湖方面などでよく見られます。平地では冬鳥で、さえずりが聴けるのは高地ならではの。



コマドリ
5月上旬から刈込湖方面などで。姿は中々みられず、ヒンカ啦啦というさえずりが響きます。



ミノサザイ
夏鳥ではありませんが、4月から水辺で盛んにさえずります。声を覚えて、探してみてください。

その他の夏鳥

4月
モズ、ニュウナイズメ、キセキレイ、イカルなど

5月
ジュウイチ、ホトギス、カクコウ、センダイムシクイ、コサメビタキ、ピンズイ、コルリ、オオルリなど

その他、4-5月にみられる生きもの



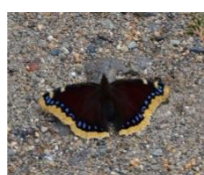
フキノトウ
湯元では、4月下旬から5月上旬に芽吹きます。今年の時期も、気になるところです。



カエルの繁殖
4月下旬~5月上旬、2種類のカエルが繁殖します。水辺を歩く際は、要注目です。



サンショウウオの繁殖
クロサンショウウオの卵のうです。5月頃、もし池などで見つけたら、そっと観察してください。



キベリタテハ
成虫の状態を冬を越し、4月下旬からみられます。黄色の縁取と青い斑点が目印です。



ツチハンミョウ
早くは3月下旬から活動しています。光沢のある青色が雪上を歩く様子は、とても綺麗です。

春一番になれなかった低気圧

「雪が溶けて川に流れていきますう♪」、キャンディーズの「春一番」、おじさん世代にとっては懐かしいですね。ランちゃん可愛かったですね、スーちゃんが亡くなってしまったのは残念です。さて、今回は春一番になりそだった低気圧の話です。

春の天気の特徴は、移動性高気圧と低気圧が交互に通過し、天気が周期的に変化することです。移動性高気圧がくると晴れ、低気圧がやってくると天気は崩れます。低気圧がくるときは、コースによって天気の様子は全く違ってきます。日本海を通ると、南から暖かい風が低気圧に向かって吹き込むため、気温は上昇し雨はあまり降りません。図1は平成27年4月3日の天気図で、低気圧が発達しながら日本海北部を通過中です。本州付近では暖かい南風が吹いています。この日の奥日光の最高気温は16.1℃、宇都宮は20.5℃と、それぞれ平年よりも9.1℃、4.7℃も高くなりました。

風も強く、奥日光の最大瞬間風速は西の風18.4m、宇都宮で南南西11.5m、この年の春になって初めて吹いた暖かい南風で文句なしの「春一番」と思いきや、春一番には認定されませんでした。春一番は、立春から春分の間、日本海の低気圧に向かって吹く暖かい南の強風とされており、この低気圧は春分に間に合わなかったからです。春一番は期間限定販売なのです。

このように、低気圧が日本海に入ったときは、風は強いものの時折晴れ間ものぞくまですまずのお天気で暖かくなります。しかしこれも一時的で、低気圧から南西に伸びる寒冷前線が通過すると、冷たい北風に変わり一気に冬に逆戻りします。登山やハイキングの途中で寒冷前線が通過すると天気が急変するので注意が必要です。

一方、低気圧が日本の南を通ると、低気圧に向かって北から冷たい風が吹き込み、季節外れの雪になることがあります。図2は、平成25年4月21日の天気図で、日本の南を小さい低気圧が進んでいます。この日、奥日光では18cmの積雪を記録しました。4月下旬としては観測史上1位の記録となりました。

筆者は前夜から休暇村日光湯元に宿泊していましたが、朝、車の上には30cmほどの雪が積もっていました。筆者の車はまだスタッドレスタイヤを装着していましたが、首都圏から来られていた宿泊客の多くは既にノーマルタイヤで、この日は車を残してバスと鉄道で帰宅し、後日車を回収しに来られたとのことでした。

「汽車を待つ君の横で僕は時計を気にしてる♪」はイルカの「なごり雪」、これもおじさん世代に青春時代を思い出させる懐かしい歌ですね。あ、これはおばさんですか。気象庁の記録によると、奥日光の過去50年間で最も遅い積雪は、平成5年5月3日の1cmです。奥日光によく車で来る方は、なごり雪に気をつけましょう。

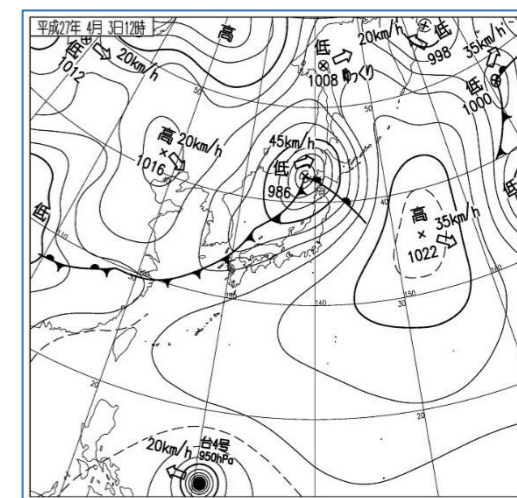


図1 平成27年4月3日

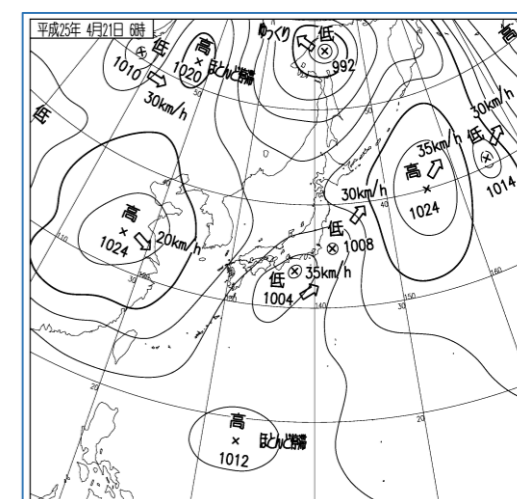


図2 平成25年4月21日

奥日光の気象情報

2015年の平均気温・湯元

	4月	5月
最高気温	10.6℃	18.8℃
最低気温	2.6℃	8.2℃

2016年 日の出日の入り(宇都宮)

	4/1	5/1
日の出	5:27	4:47
日の入	18:03	18:29

天文情報

	4月	5月
新月	7日	7日
満月	22日	22日

※自然公園財団日光支部公園班の記録より

※国立天文台ホームページより

5/6 みずがめ座η流星群が極大

※国立天文台ホームページより

日光湯元ビジターセンター イベント情報

新年度初イベントは、恒例のGW 早朝散策。6 月以降は次号をお楽しみに！

旅の空白を彩る一日のスタート

早朝散策

ビジタースタッフ流・湯元の遊び方

GW のご旅行の朝、少しでも早起きして、スタッフと一緒に春の湯元を歩いてみませんか。何気ない風景の中に隠された、湯元の魅力を探しに行きましょう。

無料・申込不要

- 日程
5月3日(火) 4日(水) 5日(木)
- 時間
6時30分～7時30分
- 集合
日光湯元ビジターセンター前
- 定員
各回 15名程度
- お問合せ
環境省 日光湯元ビジターセンター
TEL 0288-62-2321
FAX 0288-62-2378



●●● イベントレポート ●●●

やってみようスノーシュー 2/6(土) 13:00~15:30

集まった11人の参加者の方々、みなさんスノーシューは初挑戦。「家族で楽しみたい」「スノーシューコースをハイキングしてみたい」、とても意欲のあるお客様に、私達も腕がなりました。

小さな斜面を使って、キックステップやトラバースなど簡単にスノーシューの基本動作を練習した後は、早速、森の中へ！ ちょうどそのころ穏やかに雪が降り始め、いっそう神秘的になった森の雰囲気、みなさん眼を輝かせていました。

初めての雪の森歩きの機会に立ち会うことができたのは私達もとても嬉しく思います、次はぜひスノーシューコースでお会いしましょう。(サンシロー)



Pick up

奥日光関連書籍・新刊のご紹介

とちぎの野生動物 私たちの研究のカタチ

前所長辻岡も執筆！
シカによって変貌した
日光の植生



奥日光と足尾のシカは冬の間、何を

クマ剥ぎ被害は解決できるのか

那須野ヶ原におけるオオタカの保

と棲むコウモリの多様なくらし

川に起きた群れの分裂を追って

クマシシはどこへ向かうのか

川に出没したハリネズミ

栃木の野生動物を追い続けた研究者たち 40年に及ぶ歴史の中での、38名の研究成果

野生動物と人が抱える様々な課題や深く関わっていく面白さなど、専門の方はもちろん、普段関わりの少ない方にも興味深く読んでいただける本だと思います。用語集も付いているので、専門知識のない方でも安心。

●当センターでも販売中！

『とちぎの野生動物—私たちの研究のカタチ』
編者 関 義和・丸山哲也・奥田 圭・竹内正彦
発行 随想舎 2016年2月20日
価格 2,700円(税込)

退職のごあいさつ 自然解説員 緒方光明(みつ)

この3月をもちまして、自然公園財団を退職することとなりました。在職中にお世話になった方々に心より感謝申し上げます。

奥日光の恵まれた自然環境の中で暮らした3年間は、私にとってかけがえのないものとなりました。若輩者ゆえに至らない点が多々あり、皆様にはご迷惑をおかけしてしまうこともありました。それでもなお、皆様に暖かく接していただき、時には厳しくご指導いただいたことは、仕事を進める上での大きな支えとなり、一生の財産であると感じています。

また、新しい取り組みに積極的に挑戦できる職場と巡り合えたことも、私にとってとても幸運なことでした。きのこの探検隊に始まり、水生生物観察会や地図読み講座など、これまでなかった企画を参加者のみなさんと作り上げていく中で、大きく成長できたことを実感しています。本当にありがとうございました。

4月からは、秩父多摩甲斐国立公園に位置する奥多摩ビジターセンターにてセンター長として勤務させていただきます。責任の大きい役職ですが、奥日光において培った経験を活かしてこれまで以上に努力していく覚悟をしています。

奥多摩町は、東京都唯一の百名山である雲取山の麓にあり、大きな湖(奥多摩湖)もあることから、どこか奥日光を感じさせてくれます。お近くまでお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。